

トチバニンジン

【 *Panax japonicus* 】

科名 ウコギ科

属名 トチバニンジン属

薬効・用途

根茎(竹節人參 チクセツニンジン)は、健胃、鎮咳、去痰、解熱薬。小柴胡湯、半夏瀉心湯などに人參の代用とされることがある。人參に比べて健胃、去痰、解熱作用は優れると言われるが、強壯、強精の目的では代用にならない。胃部の熱感、胃のつかえ、消化不良、食欲不振、気管支炎などに用いられる。養毛剤にも利用される。



・花期：6～8月

備考

夏緑性の多年草。日本原産。北海道、本州、四国、九州の山地の林内に自生する。節くれ立った根の形状から、チクセツニンジン（竹節人參）とも呼ばれる。和名は葉の形がトチノキの葉に似ていることに由来する。両性花。